



がん教育 (2年生 保健体育)

11月13日(月), 2年生の保健体育の授業の一環として、「がん教育」を実施しました。今年度も、のばら薬局の薬剤師である鷹橋紀幸さんを講師に迎え、「がん」についての様々な学習を行いました。がんになるリスクを減らしていくための望ましい生活習慣や食生活について学習しました。また、がん患者のいろいろな思いについても知りました。

日本人の2人に1人はがんを発症していると言われています。正しい知識や早期発見のためのがん検診が大切であることを学びました。10代の今はまだ自分のこととして考えるのは難しいと思いますが、授業で学んだことを家族に伝えるなどして、がんに対する意識を少しでも高めてほしいです。



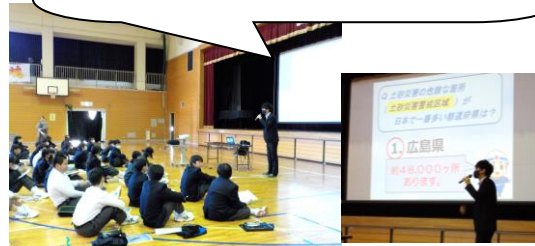
中学生の今できることは、規則正しい生活習慣を身に付けておくことです。

【生徒感想】

家に帰ったら家族と一緒にハザードマップなどで危険な場所や避難場所を確認して、災害で大きな被害が出る前に避難できるようにしたいです。

砂防出前講座 (1年生)

11月21日(火), 土砂災害から身を守ることの大切さを再認識し、中学生の防災・減災意識を高めていくことを目的に、広島県土木建築局砂防課による砂防出前講座を実施しました。県の職員の方から、災害が起こるメカニズムや身を守るための大事なこと、①危険な場所を知る。②情報を集める。③避難する。という3つのことについて分かりやすく説明をしていただきました。クイズもあり、楽しく学習ができました。今後も折に触れて防災について学んでいきましょう。



邦楽鑑賞会

12月1日(金), コロナ禍で中止になっていた邦楽鑑賞会が3年ぶりに開催されました。呉三曲会から講師として脊戸先生、日當先生、浅田先生、松田先生の4名に来ていただき、尺八や箏、三絃の紹介と演奏をしていただきました。めったに聞くことができない伝統的な音楽に、生徒たちは静かに興味をもって聴いていました。「六段の調」や「春の海」、「八千代獅子」など、生活の中で聴いたことのある曲でした。質問コーナーでは、各学年からたくさんの質問があり、1時間という短い時間でしたが、邦楽が身近に感じられ、とても充実した時間になったと思います。呉三曲会の皆様、ありがとうございました。



薬物乱用防止教室 (3年 保体)

12月5日(火), 3年生の保健体育の授業で「薬物乱用防止教室」を行いました。学校薬剤師である佐々木一仁先生を講師に招き、危険薬物について学習しました。最近では大麻グミやオーバードーズなど、テレビなどのメディアで話題になっています。また、中高生も危険薬物の被害の報告があります。生徒の事前のアンケートでは、薬物等に関するたくさんの質問が寄せられ、佐々木先生には丁寧に答えていただきました。そして、その恐ろしさだけでなく、実際に危険薬物の誘いがあつたときの断り方なども教えてくださいました。薬物乱用は、心も体もボロボロにしまいます。「薬物絶対ダメ!」ですね。



(生徒感想より)

薬物の恐ろしさをラットの実験を見てよく分かった。薬物を乱用している人の中でも1回でやめることはできるのではないかなと思ったけれど、絶対に無理ということが理由付きで知ることができた。絶対に使用してはいけなかった。

本の読み聞かせ よむよむ

今回の絵本から皆さんは、どんなことを考えましたか？

1・3年生で絵本の読み聞かせを行いました。今回は、自分を見つめること、孤独、人との関わり、生きるということなどをテーマとして選んでいただきました。本のタイトルは、「ひとりひとり」、「あの子」、「からすたろう」、「たいせつなきみ」、「オレ・ダレ」、「生きる」です。絵本といえども内容は中学生以上の大人向けのものもあり、かなり考えさせられるものでした。普段の生活の中で自分自身を見つめたり、周りの人のことをじっくり考えたりすることは、あまりないかもしれませんが、こういう機会に考えてみるのもよいことだと思います。



学校評価アンケート結果（一部抜粋）

【生徒アンケート】

【保護者アンケート】

※（ ）は、前回との比較値

アンケート項目	%
授業中は私語をせず、落ち着いて学習できている。	80%（-5）
課題などの提出物は、期限までに提出している。	60%（-19）
学習塾等以外に、家庭学習をしている。	65%（-4）
月1冊程度、本を読んでいる。	55%（-15）
自分にはよいところがある。	71%（-7）
自分のよさは、周りの人から認められていると思う。	70%（+2）
将来の夢や目標を持っている。	72%（-5）

アンケート項目	%
子どもは落ち着いて授業を受けていると思う。	81%（-2）
子どもは学習塾等以外に家庭学習をしている。	48%（-4）
子どもは家庭で本を読んでいる。	37%（+2）
東畑中は、問題行動やいじめ撲滅に向けて、教育相談に力を入れていると思う。	88%（+4）
P T A活動は活発だと思う。	85%（±0）
家族で自然災害や防災について話し合うことがある。	51%（-20）

授業については、多くの生徒は落ち着いて学習していますが、一部、授業が始まっても教科書やノートなどの授業道具を机に出していない生徒や先生の指示が無いのにタブレット端末を使っている生徒、そして私語をしている生徒もいるようです。そのような状態が提出物や学習時間などにも課題として現れていると考えています。また、本校では自尊感情の向上を目標に掲げ、様々な取組を実施していますが、「自分にはよいところがある。」や「自分のよさは周りの人から認められている」と感じている生徒は、それぞれ目標に達していません。しかし、文化活動発表会や小中一貫グリーン活動を行った際にとったアンケートでは、約98%の生徒が自分のよいところを認識し、人に認められていると回答していました。自分の状態には波がありますので、「良いとき」や「良くないとき」があるし、自分ってだめだな、と感じることがあるのは当然です。しかし、自分にはよいところがあり、周りのみんなから認められているということを忘れないでほしいです。そういう気持ちが少しずつ自分に自信を持たせてくれますよ。

読書をしてみませんか？

今月は、文化図書委員さんが選んでくれた本をラッピングして貸し出します。どんな本が出てくるか、皆さん、お楽しみに！（学校司書 横田先生より）

毎週水曜日に学校司書である横田先生が、生徒の皆さんに一人でも多く来てもらいたいという思いで、季節ごとの掲示やディスプレイの工夫をしています。毎月、展示内容が変わっているのでも何回来てでも飽きることはありませんね。本があまり好きではないというあなたも、一度来てみてください。気になる本がきっとあるはずです。



表彰伝達

クリスマスに合わせた書籍の展示

ひろしま美術館での特別展にあわせて、絵本のコーナーも特設されました。毎月のボランティアによる「本の読み聞かせ」で絵本に興味関心を持った人も多いと思います。是非見てみてください。

【「家庭の日」に関する作文】 入選 高橋 瑠那 「父への思い」

【呉市環境と健康ポスターコンクール】 優秀賞 正川 友愛

【「ごはん・お米とわたし」作文・図画広島県コンクール】

入選 2年 中村 真歩

入選 1年 坂手 壺成

入選 1年 前田 蒼太

【第23回中国新聞 みんなの新聞コンクール 新聞切り抜き作品の部】

佳作 1年 井上 綾美

佳作 2年 高下 遙嘉

【第45回 マラソン大会（主催 呉中央東体育連絡協議会）】

1位 河本倉一郎

2位 西嶋勇輝

6位 尾下夢叶

7位 下東海斗

8位 道中煌明

1位 城 歩夏

3位 栗垣瑞伎

4位 武藤紗良

5位 村上りく

皆さん、おめでとうございます！